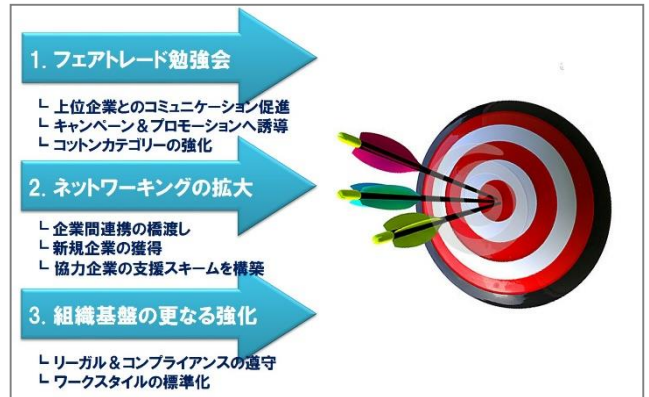


2014年度 事業報告書

2014年度、フェアトレード・ラベル・ジャパン(FLJ)では、昨年度に引き続き、「フェアトレード勉強会の実施」と「ネットワーキング拡大」に加え、「組織基盤の更なる強化」を活動テーマに沿え、国際フェアトレード認証ラベル・認証製品の普及推進に取り組んだ。



1. 認証・ライセンス事業

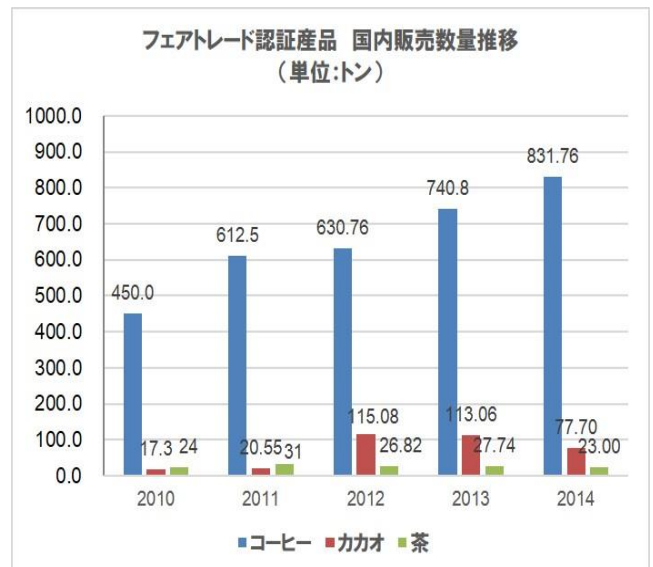
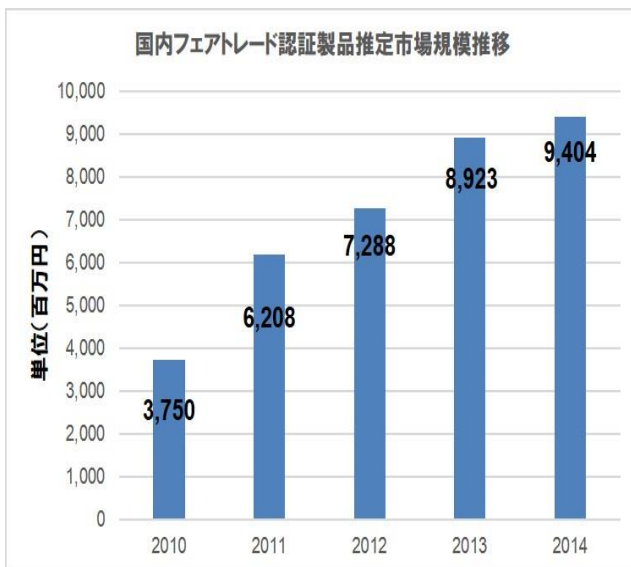
1-1 市場動向概況

2014年(1月～12月)国内の国際フェアトレード認証製品市場規模は推定で約94億円(前年対比105%)。主要産品であるコーヒー分野では、販売数量ベースで対前年比112%と大きく拡大。またカカオカテゴリーでは、イオン株式会社が、国際フェアトレード認証カカオ調達コミットメントとして認証製品数を増やしたり、森永製菓株式会社が昨シーズンの国際フェアトレード認証製品発売(期間限定商品)に続き、今シーズン(2015年)では通年販売の製品を投入するなど、大手企業による取組みがさらに拡大・深化。また、2014年度の新規参入企業14社のうち6社がコットンカテゴリーと、繊維業界からの関心の高まりが感じられる年であった。

(2015年3月31日時点)

	2014年度	2013年度	前年度対比
フェアトレード参加組織数(※1)	166	147	129%
ライセンシー数(※2)	58	55	105%

(※1)FLJ認証組織(輸入、製造、卸、ライセンシー)、FLO-CERT認証組織、製造受託組織、海外完成品輸入組織等
 (※2)最終製品の販売者・ブランドオーナー



(コーヒーは焙煎豆ベースの数量、カカオは生豆ベースの数量)

1-2 新規認証組織

組織名	役割	産品
有限会社シサム工房	ライセンス	繊維
生活協同組合コープさっぽろ	ライセンス	コーヒー
株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ	小規模ライセンス	繊維
オルビス株式会社	ライセンス	生鮮果物、繊維
豊通ファッションエクスプレス株式会社	ライセンス	繊維
ユニテックフーズ株式会社	製造	生鮮果物
株式会社自然愛Japan	輸入、製造	スパイス・ハーブ、ハーブティー
Aoyagi Coffee Factory	小規模ライセンス	コーヒー
株式会社Asante	小規模ライセンス	花
ジャパン・ティー・トレーディング株式会社	小規模ライセンス	茶
レインボーワールド株式会社	製造	繊維
株式会社リーフエッジ	小規模ライセンス	スパイス・ハーブ、ハーブティー
三喜屋珈琲株式会社	製造、ライセンス	コーヒー
株式会社福市	小規模ライセンス	繊維

1-3 主なマーケットの動き

4月	日本生活協同組合連合会	フェアトレード認証 セイロン紅茶ティーバッグ商品2種発売	
	株式会社マッシュフードラボ	ナチュラル&オーガニックコスメやアロマ、雑貨などの セレクトショップCosme Kitchenが運営する コスメキッチンカフェ(京都・福岡)でオーガニック& フェアトレード認証コーヒーの提供スタート http://cosmekitchen-cafe.com/	
	株式会社チチカカ	全国約100店舗を展開する エスニック衣料・雑貨ブランド 「チチカカ」で、新たにフェアトレ ード認証コットンバッグ3種発売	
5月	一般社団法人わかちあいプロジェクト	マラウイ産フェアトレード認証砂糖を使ったジャム6種類発売。 (いちご、ブルーベリー、マーマレード、シナモンレーズン・ス プレッド、マンゴー、パイナップル)	
7月	生活協同組合コープさっぽろ	150万人の組合員からなる 「コープさっぽろ」が、 PB(プライベートブランド)商品として フェアトレード認証コーヒーを発売。	
	一般社団法人わかちあいプロジェクト	フェアトレードJAS有機の豆味噌を発売。 内モンゴル自治区産フェアトレード認証 大豆を使用。	

8月	有限会社シサム工房	1999年に京都で生まれたフェアトレード&インテリア・家具ショップ「シサム工房」。現在、京都・大阪・神戸に7店舗を展開。タートルネック、Vネックセーターなど計8点、シサム工房として初のフェアトレード認証コットン製品を発売。
9月	一般社団法人わかちあいプロジェクト	内モンゴル自治区産フェアトレード&有機認証大豆を使った大豆麺3種発売 (左から、極太麺/エビ型/細麺) 
10月	株式会社チチカカ	バッグ、ジャケットなど計3製品発売
	株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ	オーガニック(GOTS)認証&フェアトレード認証のコットンだけを使って自社で企画・製造輸入。トートバッグ、エコバッグ3種を発売。企業CSR向け商品も開発。 
1月	イオン株式会社 イオントップバリュ株式会社	「国際フェアトレード認証調達」プログラム」対象商品とフェアトレード&オーガニックのダブル認証チョコレートを発売 
	森永製菓株式会社	昨年、ナショナルブランドとして初のフェアトレード認証製品を期間限定で発売。2015年版は通年商品として「森永チョコレート<1チョコ for 1スマイル>」を発売 
2月	有限会社シサム工房	ニットカーディガン、Tシャツ等新たに11製品を発売 
3月	株式会社チチカカ	スカート、ワンピース、パンツなど4製品発売 
	一般社団法人わかちあいプロジェクト	ウズベキスタン産フェアトレード認証ひよこ豆、内モンゴル自治区産フェアトレード認証大豆水煮を発売

1-4 ステークホルダーとのコミュニケーション促進・ネットワーク構築

● フェアトレード社内勉強会

計45回実施：新規検討企業33社、既存登録企業12社

2014年度は、勉強会においてフェアトレードの必要性を体感するワークショップ「貿易ゲーム」を取り入れた。本業におけるフェアトレードだけでなく、社内消費としてのフェアトレードに取り組む(もしくは検討中)企業にも勉強会を実施。勉強会実施の結果、多くの企業から、商品拡充やカテゴリ拡大、社内消費でのフェアトレード促進といった積極的な反応を得た。



● ステップアップ勉強会の開催（4月4日）

フェアトレードへの理解と共感を深めてもらうこと、そして参加者間の情報交換を目的に、主に既存登録組織を対象にFLJ事務所で開催。今年度は、スイスのフェアトレード認証組織「マックスハベラー財団」よりスポークスマン・PRマネージャーFlorie Marion氏をスピーカーに迎え、欧州、特にスイスでのフェアトレード市場の最新動向を共有。

● フェアトレードワークショップ & セミナーの開催（5月21日）

商社、製造業、ITサービス業、流通など、幅広い業種の大手企業25社から40名以上の担当者が参加し、全員で「貿易ゲーム」を実施。大手企業担当者を対象にした貿易ゲーム企画は、FLJとしては国内初の試みで、貿易ゲームの体験を通して、自由貿易や経済のグローバル化が引き起こす様々な課題への気づきや、フェアトレードへの理解・共感を広げ、地球規模課題の解決手段のひとつとしてのフェアトレードの必要性や有効性を再認識してもらうことを目的に企画した。

本イベントに参加したコニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社では、このイベントがきっかけとなり、社内カフェテリアでのフェアトレード認証コーヒーと紅茶の採用を決定。それ以外にも、複数の参加企業が、社内消費用にフェアトレード認証製品採用の検討を進めているほか、本イベント参加の企業CSR担当者間の連携・ネットワーキングが進んだ。



「貿易ゲーム」に取り組んでいる様子。

終了後には参加者から、「情報格差、資源・技術格差、環境格差を改めて実感した」「個人の意識改革になった」

「フェアトレードの大切さを体感できた」といった感想が聞かれた。

本イベントは、会場提供や企業CSR担当者への参加呼びかけなど、株式会社NTTデータの社会貢献推進室が企画協力。同社は、2014年の株主総会で、株主への手土産用に初めてフェアトレード認証原材料を使ったケーキやクッキーを商品開発。

1-5 フェアトレード認証規定関係

2014年度に以下の新しい規定・制度を策定・施行した。

- 「ライセンス契約書」の更改
- 「国際フェアトレード認証調達プログラム」の整備(契約書、ラベル使用規定、監査制度確立等)
- Fairtrade Internationalの認証機関向け新規格「Assurance Code」(*)に準拠した認証事業体制の構築

Assurance Code遵守は、FIがメンバーとなっているISEALアライアンスのフルメンバーシップ要件となっており、2016年6月までの遵守が求められている。主に、認証・監査サイクルの明確なルール化、認証事業のマネジメントシステムの確立、公平性確保などへの対応が求められる。これにより、世界各国の監査・認証・ライセンスの手順と判断基準の統一化を図り、国際フェアトレード認証システムの信頼性構築を目指す。

(*) Assurance Codeとは、ISEAL(International Social and Environmental Accreditation and Labelling)が定める監査認証プロセスに関する基準。持続可能性に関する基準の施行に関し、信頼性および実効性を高めることを目的としたガイドライン。ISO17065(製品認証機関に対する要求事項)の内容も網羅している。

1-6 監査業務

2014年度は、上述の「Assurance Code」への対応により監査・認証基準の大改革を要するため、認証組織への実地監査は見送った。

2. 普及啓発・広報事業

2-1 普及啓発イベント

- 「フェアトレード月間」強化(5月)

認証・登録組織によるフェアトレードの活動を促進し、FLJでも情報発信を行った。

- 第5回 学生向け勉強会の開催(2/15 @NTTデータ豊洲)

フェアトレード学生ネットワーク(FTSN)関東メンバー+大学生有志とFLJとの共同企画で、大学生を対象にフェアトレード認証について理解を深める勉強会を開催。(回数は2012年度からの通算)

当日は36名が参加。フェアトレード認証のしくみ、インドコットン生産者の状況の紹介のほか、貿易ゲームやディスカッションを実施し、理解を深めてもらった。



- 「フェアトレードフェスタちは2014」への後援(5/11 @千葉市きぼーる)
- 「カフェ・喫茶ショー2014」への後援(6/18-20 @東京ビッグサイト)
- FTSN主催「第12回フェアトレード学生サミット」へ学生インターンが参加(9/2-4 @東京・代々木)
- 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」への協賛(10/15-11/14)
- イオン株式会社 国際フェアトレード認証調達プログラム店舗イベント参加(2/10 @イオン葛西店)

2-2 広報事業・普及啓発サポート活動

- ウェブサイト、ソーシャルメディアを活用した情報発信(通年)
- 広報物・教材の販売・提供(通年)
- 中学・高校・大学の学園祭などイベントへのフェアトレード広報物貸出サポート(通年)
- ソーシャルグッドプラットフォームgooddoへの参加
- 広報誌「どのチョコを選ぶ?」の製作・配布
- 広報誌FAIRspirits第7号の製作・配布
- 広報物の貸し出し制度スタート
 - ・情報パネルbasic/advancedセット(各6枚一組)
 - ・バナナスーツ(着ぐるみ)
 - ・商品見本セット



全国各地の学校行事(学園祭など)やフェアトレードのイベントなどで広く活用してもらい、フェアトレード認証ラベルの理解を深めてもらうことに繋がった。

- セミナー・シンポジウム等での講演
 - ・福井県高等学校家庭部会総会(4月25日 @福井県教育センター)
 - ・総合地球環境学研究所「食の倫理的なトレード・消費・連鎖の実現にむけて」(7月2日 @京都)
 - ・フェアトレード・コンシェルジュ講座(9月11日 @東京・中目黒ピオキッチンスタジオ)
 - ・SCAJサステナビリティ・コーヒー・プログラムセミナー(9月25日 @東京ビッグサイト)
 - ・Textile Exchange主催「責任ある綿原料調達に関するセミナー」(1月23日 @東京・千駄ヶ谷)
- メディア取材対応 (年間計38媒体: ラジオ1、新聞7、雑誌12、ウェブ8、その他10)
- 書籍・教科書・教材への掲載対応(年間計25媒体)
- 原稿執筆依頼への対応
 - オルタナ「新・CSR検定3級公式テキスト」への寄稿(2014年5月23日発売)

2-3 教育

- 教育機関からの授業依頼への対応・事務所訪問受け入れ(計4校)
 - ・明治学園中学高等学校(北九州市)
 - ・東京都立千早高等学校「課題研究ソーシャルビジネス 3年選択授業」
 - ・山口県立宇部高等学校
- 教育機関、公的機関、消費者教育機関へのサポート(教材提供・販売)

3. ネットワーキング・連携活動

3-1 国内団体との連携・ネットワーク参加

- 特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC) -正会員
- 一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム(FTFJ) -正会員
- チョコレート・アライアンス -コアメンバー
- なんとかしなきゃ!プロジェクト -メンバー団体

● 日本エシカル推進協議会

日本における倫理観、良心を持った行動規範としてのエシカル文化の定着を目指し、2014年3月から設立準備が進められてきた日本エシカル推進協議会が5月30日に発足。環境経営、CSR、フェアトレード、エシカル、ソーシャルマーケティングなど幅広い分野から環境団体、NGO、有識者、企業等、109名が設立発起人として名前を連ねる。

FLJも設立準備段階から参加し、特に2020年東京五輪でのエシカル調達・エシカル運営実現を目指した「エシカルオリンピック・パラリンピック」ワーキンググループに幹事メンバーとして積極的に参加。東京五輪でのフェアトレード調達の実現を目指す。



2014年5月30日設立総会の様子
(写真出典: ウェブサイト「Ethical日本」)

3-2 Fairtrade Internationalネットワーク関係

- 認証ラベル推進組織事務局長会議・FI年次総会への出席(6/10-13 @ドイツ・ケルン&ボン)
- 認証ラベル推進組織アジア・太平洋会議への出席(11/3-6 @オーストラリア・メルボルン)
- 認証・ライセンス会議への出席(3/25-27 @イタリア・パドヴァ)



⇐2014年6月10日・11日 認証ラベル推進組織(FI各国メンバー組織)事務局長会議の様子。いかにフェアトレード市場を拡大し、生産者へのインパクトを増大させることができるか、世界共通KPI(業績評価指標)での業績レビューと対策、市場拡大のための戦略などを議論。



2014年11月3日～6日 認証ラベル推進組織アジア・太平洋会議参加者の面々。アジア・太平洋地域のメンバー組織が一堂に会し、最新動向の共有やフェアトレード普及拡大のための施策などを議論。



2015年3月25日～27日 認証・ライセンス会議参加者の面々。FI各国メンバー組織の認証・ライセンス事業責任者が1年に一度集まり、フェアトレード基準策定進捗の共有や認証規定などを議論。

4. FLJ組織運営

4-1 FLJ組織体制(2015年3月31日現在)

- ・正会員: 個人会員12、団体会員2
- ・サポーター: 一般サポーター336名、年間サポーター11名
- ・役員: 理事3名、監事1名
- ・事務局: 職員4名、学生インターン2名

● 通常総会開催

日時: 2014年5月31日(土) 13:30~15:30

場所: FLJ事務所

議題: 決議事項(第1号議案) 2013年度 事業に関する事項
(第2号議案) 2013年度 決算に関する事項
(第3号議案) 監事選任に関する事項

報告事項(1) 2014年度 事業計画
(2) 2014年度 収支予算
(3) 理事について

● 理事会運営

・第1回: 2014年5月31日(土) 10:00~13:00

2013年度事業報告・決算報告、2014年度事業計画・収支予算、役員任期、監査報告

・第2回: 2014年7月26日(土) 11:00~15:00

Fairtrade International(FI) 総会報告、収支進捗、組織運営体制

・第3回: 2014年11月22日(土) 10:30~12:30

収支進捗、業況報告、Assurance Code/ISO 17065、役員交通費設定、役員任期設定の検討

・第4回: 2015年2月28日(木) 14:30~18:30

2014年度収支見込、業況報告、2015年度活動テーマ、FIとの共同プロジェクト(2020年中期戦略)

4-2 組織基盤強化への取組み

- ・内部規定類の整備(国内・海外出張旅費規程、慶弔費規定)
- ・組織ガバナンスの強化(行動規範の策定準備など)
- ・東京商工会議所への入会(リーガルサポート、各種能力強化研修などを活用)
- ・スタッフ能力強化各種研修(ビジネス法務、人事・労務、キャッシュフロー、コンプライアンス、情報管理)
- ・2016年~2020年 中期戦略立案の開始

4-3 内部監査の実施

2014年度は、Fairtrade Internationalメンバー組織全体でISEALの「Assurance Code」に則した認証・監査事業体制の構築に取り組むこととなり、事業運営体制の大改革を行った。そのため、2014年度は内部監査を見送り、新体制での運営状況を2015年度の内部監査で確認する計画である。